

会員各社で行われている防災・安全衛生に対する取り組み その5

この度、全信工協会より防災・安全衛生に対する取り組みについての紹介をさせていただくことになりました株式会社内外の代表取締役 市川正仁でございます。弊社は昭和40年に創業以来、交通信号機工事を主体として数多くの実績を築きあげて参りました。

現在では、道路標識・道路標示・道路情報板・道路照明と分野を拡大し、交通安全施設を通じ社会に貢献いたしております。



弊社の本社がある山梨県は周囲を南アルプス・ハケ岳・富士山といった日本有数の山に囲まれている自然豊かな場所であり、しかしここ数年長きにわたり「富士山が噴火する恐れがある」と警鐘が鳴らされていたり、また、東海沖地震が発生すると県土全体に大きな被害が生じるとも予想され警戒されています。そんな中、一昨年前の記録的な大雪の被害の時には高速道路が通行止め、一般道路は積雪のため通行不可能な状態になり、県内全鉄道が運休と、あらゆる交通機関がマヒしてしまう「いわば陸の孤島」となる甚大なダメージを受けました。



(大雪による信号機倒壊のようす)

県も災害対策には力を入れているなか、弊社が加入している山梨県電設協会は平成元年より山梨県と災害協定を締結し、協会を通じ日々防災対策、訓練、地域活動に努めています。

弊社の安全・衛生の取り組みとしては、OHSAS18001(労働安全衛生マネジメントシステム)を認証・取得し、労働災害リスクを低減して、従業員や社会からの信頼獲得、組織の価値向上をめざしております。具体的には職長を中心としたKY活動などによるリスクアセスメントの実施、店社パトロールによる現場の安全・衛生の取り組みが確実に実施されていることの確認、さらに衛生管理者を配置し職場環境の改善と個々の心配事の相談や身体の健康管理に努めています。社員全員が災害に対する意識が高まり、目標である「災害ゼロの実施」を心がけています。



これからも、社の合言葉「風・林・火・山」を掲げ、社員一丸となって災害防災活動・地域活動・安全活動に励んでまいります。

- ・疾きこと風の如く～迅速臨場
- ・静かなること木の如く～冷静沈着、適正判断
- ・侵略すること火の如く～早期の復旧
- ・動かざること山の如く～社会の信頼不動のものに

最後に、皆様のご健康とご多幸をお祈りするとともに、全信工協会による全国規模の災害協定を締結することにより協災害対策網ができますことを切に願い、終わりのあいさつとさせていただきます。



(安全パトロールの実施)